



平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堤 殷

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 及川 雅晴

TEL 03-3458-5035

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	231,324	4.5	20,559	22.1	21,688	21.0	12,419	24.8
22年3月期第3四半期	242,117	0.5	26,394	24.2	27,451	23.8	16,520	36.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	121.54	
22年3月期第3四半期	161.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	237,794	172,819	68.7	1,597.98
22年3月期	229,242	170,288	70.2	1,575.67

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 163,272百万円 22年3月期 161,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		15.00		25.00	40.00
23年3月期		20.00			
23年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	307,000	2.6	26,000	16.5	27,000	17.0	15,800	14.6	154.63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名)、除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	110,881,044株	22年3月期	110,881,044株
-------------------	----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数	23年3月期3Q	8,706,540株	22年3月期	8,696,135株
---------	----------	------------	--------	------------

期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	102,180,372株	22年3月期3Q	102,014,594株
----------------	----------	--------------	----------	--------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 生産実績	12
(2) 受注実績	12
(3) 販売実績	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果や海外経済の改善により緩やかながら回復基調が見られましたが、長引く円高や株価低迷、米国経済の先行き不透明感により、個人消費も伸び悩み、回復への道は足踏み状態にあります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同四半期に比べ4.5%減収の231,324百万円、営業利益は前年同四半期に比べ22.1%減益の20,559百万円、経常利益は前年同四半期に比べ21.0%減益の21,688百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ24.8%減益の12,419百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の為替換算レートは、81.52円/米ドル（前第3四半期連結累計期間は、92.10円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、世界を取り巻く水産市場では、ロシア・中国に代表される海外勢の旺盛な買い付けが続いております。国内市場では、魚価上昇及び原材料コストの上昇をいかに末端価格へ反映できるかという厳しい事業環境となっております。このような状況の中、付加価値製品の開発拡販や得意商材である鮭鱒、魚卵、マグロ等の積極的な販売に努めた結果、売上高は25,415百万円、セグメント利益は546百万円となりました。

海外即席麺事業は、食品業界全体が低迷する中、相変わらず熾烈な価格競争により販売価格の低下は免れず、また円高の影響もあって、売上高は35,950百万円となりました。さらに原材料価格の高騰と相まって、セグメント利益は5,855百万円となりました。

国内即席麺事業は、記録的な猛暑の影響で即席麺の総需要が低迷いたしました。また、「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」を中心とした和風ブランド及び「麺づくり」といった基幹商品が堅調に推移したこと、今春から発売した提案型新ブランド「四季物語」が売上に貢献したこと、売上高は76,097百万円、セグメント利益は9,013百万円となりました。

低温食品事業は、生麺ではつけ麺専用シリーズのヒット、猛暑による冷しラーメン類の伸張等、涼味商品は好調に推移しましたが、焼そばやうどん類が外食市況の影響を受け、生麺類全体では厳しい状況が続いております。冷凍食品類については、冷凍麺は低価格化の影響を受けましたが、冷凍食品は特に市販用の冷凍野菜等が好調に推移いたしました。その結果、売上高は48,784百万円、セグメント利益は3,393百万円となりました。

加工食品事業は、無菌米飯の増量セールや景品付企画及びレトルト米飯の消費者プレゼントキャンペーン等の販促強化に努めました。また、フリーズドライスープについては「がんばれ！受験生」セールを実施した他、季節感のあるカップスープを発売いたしました。その結果、売上高は14,787百万円、セグメント利益は495百万円となりました。

冷蔵事業は、景気低迷による個人消費の落ち込みの影響を受け、荷主の在庫圧縮が続いたことから全国的に在庫量が減少しました。また、猛暑の影響によりアイスクリーム類の取り扱いが活発で、出庫が高水準で推移したことにより、保管料収入が減少する結果となりましたが、積極的な営業活動により在庫量が増加し、入出庫収入が順調に推移し収支の下支えをしました。その結果、売上高は9,879百万円、セグメント利益は506百万円となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。売上高は20,365百万円、セグメント利益は1,270百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は8,551百万円増加し237,794百万円、純資産は2,531百万円増加し172,819百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加し、有価証券、建物及び構築物が減少しました。負債は、主に支払手形及び買掛金が増加しました。純資産は、主に利益剰余金が増加し、為替換算調整勘定が減少しました。

この結果、自己資本比率は68.7%、1株当たり純資産は1,597円98銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ977百万円減少し、45,567百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ1,138百万円減少の13,976百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加、減価償却費の増加により資金が増加した一方、税金等調整前四半期純利益の減少、たな卸資産の増加により資金が減少したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ12,157百万円減少の7,484百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ333百万円減少の4,841百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が増加した一方、自己株式の取得による支出が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成22年10月29日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「持分法に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

② 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益が15百万円、経常利益が15百万円、税金等調整前四半期純利益は270百万円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,149	31,134
受取手形及び売掛金	50,748	39,004
有価証券	10,000	16,000
商品及び製品	13,743	13,218
仕掛品	167	221
原材料及び貯蔵品	4,154	3,819
繰延税金資産	2,248	1,651
その他	3,443	4,102
貸倒引当金	△526	△543
流動資産合計	121,127	108,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,672	46,437
機械装置及び運搬具(純額)	21,897	22,419
土地	30,128	30,409
建設仮勘定	1,596	1,162
その他(純額)	1,367	1,281
有形固定資産合計	98,663	101,709
無形固定資産		
のれん	33	71
その他	1,790	2,097
無形固定資産合計	1,824	2,169
投資その他の資産		
投資有価証券	13,907	14,690
繰延税金資産	1,463	1,232
その他	809	831
貸倒引当金	△1	—
投資その他の資産合計	16,178	16,754
固定資産合計	116,666	120,633
資産合計	237,794	229,242

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,654	18,697
短期借入金	1,826	1,714
1年内返済予定の長期借入金	52	52
未払法人税等	2,448	3,179
未払事業所税	49	68
未払消費税等	1,097	353
役員賞与引当金	94	173
未払費用	16,832	16,450
繰延税金負債	3	7
資産除去債務	53	—
その他	2,352	1,241
流動負債合計	47,466	41,939
固定負債		
長期借入金	25	64
繰延税金負債	840	1,233
退職給付引当金	14,808	14,240
役員退職慰労引当金	115	111
負ののれん	563	676
資産除去債務	307	—
その他	847	689
固定負債合計	17,508	17,014
負債合計	64,974	58,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	22,516
利益剰余金	144,772	136,951
自己株式	△8,106	△8,086
株主資本合計	178,151	170,350
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△163	364
繰延ヘッジ損益	△826	197
為替換算調整勘定	△13,889	△9,902
評価・換算差額等合計	△14,878	△9,340
少数株主持分	9,547	9,278
純資産合計	172,819	170,288
負債純資産合計	237,794	229,242

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	242,117	231,324
売上原価	149,166	143,574
売上総利益	92,951	87,750
販売費及び一般管理費	66,556	67,190
営業利益	26,394	20,559
営業外収益		
受取利息	297	105
受取配当金	216	266
賃貸収入	303	323
持分法による投資利益	179	48
雑収入	352	580
営業外収益合計	1,349	1,324
営業外費用		
支払利息	21	16
賃貸収入原価	46	48
為替差損	102	44
雑損失	122	85
営業外費用合計	293	195
経常利益	27,451	21,688
特別利益		
固定資産売却益	7	13
貸倒引当金戻入額	20	26
補助金収入	21	168
その他	1	96
特別利益合計	50	305
特別損失		
固定資産除売却損	181	326
投資有価証券評価損	2	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	254
減損損失	186	290
その他	9	33
特別損失合計	380	906
税金等調整前四半期純利益	27,121	21,087
法人税、住民税及び事業税	9,731	8,301
法人税等調整額	163	△137
法人税等合計	9,894	8,163
少数株主損益調整前四半期純利益	—	12,923
少数株主利益	706	504
四半期純利益	16,520	12,419

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,121	21,087
減価償却費	6,179	7,717
減損損失	186	290
のれん償却額	38	38
負ののれん償却額	△39	△112
持分法による投資損益 (△は益)	△179	△48
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	254
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	560	568
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△15	3
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△124	△78
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△14
受取利息及び受取配当金	△513	△371
支払利息	21	16
為替差損益 (△は益)	102	44
有形固定資産除売却損益 (△は益)	173	313
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,977	△12,032
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,393	△1,074
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,375	4,139
未払費用の増減額 (△は減少)	754	605
その他	347	1,174
小計	27,396	22,522
利息及び配当金の受取額	526	371
利息の支払額	△22	△17
法人税等の支払額	△12,785	△8,899
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,115	13,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△416	△1,710
定期預金の払戻による収入	382	700
有形固定資産の取得による支出	△19,290	△6,125
有形固定資産の売却による収入	105	36
投資有価証券の取得による支出	△65	△24
投資有価証券の売却による収入	7	24
貸付けによる支出	△1,448	△1,497
貸付金の回収による収入	1,426	1,359
無形固定資産の取得による支出	△345	△272
その他	3	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,641	△7,484

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,521	1,464
短期借入金の返済による支出	△2,447	△1,352
長期借入金の返済による支出	△69	△39
自己株式の取得による支出	△2,005	—
配当金の支払額	△2,966	△4,598
少数株主への配当金の支払額	△204	△236
その他	△3	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,175	△4,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,473	△2,628
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,174	△977
現金及び現金同等物の期首残高	49,537	46,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,363	45,567

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	魚介類 部門 (百万円)	加工食品 部門 (百万円)	冷蔵庫 部門 (百万円)	その他 部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	26,074	202,811	10,071	3,161	242,117	—	242,117
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,568	439	785	454	3,249	(3,249)	—
計	27,642	203,251	10,857	3,615	245,366	(3,249)	242,117
営業利益	391	24,779	747	497	26,415	(20)	26,394

(注) 1 事業区分は業種、製品の種類及び取引形態により区分しております。

2 各事業の内容及び主要な製品の名称

- (1) 魚介類部門……魚介
- (2) 加工食品部門……即席麺・生麺・冷凍食品・米飯
- (3) 冷蔵庫部門……保管・凍結
- (4) その他部門……不動産賃貸

3 決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額は、営業外損益(為替差損益)として処理しております。当第3四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「魚介類部門」が68百万円(差損)、「加工食品部門」が1百万円(差益)であります。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	計(百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	198,328	43,789	242,117	—	242,117
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,063	4,063	(4,063)	—
計	198,328	47,853	246,181	(4,063)	242,117
営業利益	16,825	9,540	26,365	28	26,394

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

- (1) 国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。
- (2) 北米区分に属する主な国又は地域は、米国・メキシコであります。

2 決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額は、営業外損益(為替差損益)として処理しております。当第3四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「北米」が67百万円(差損)であります。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	43,792	214	44,007
II 連結売上高(百万円)			242,117
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.1	0.1	18.2

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

北米……………米国・メキシコ

その他の地域……中国・台湾・韓国

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。なお、海外即席麺事業においては海外子会社が独立した経営単位であり、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業本部及び海外子会社を基礎とした製品別地域別セグメントから構成されており、「水産食品事業」、「海外即席麺事業」、「国内即席麺事業」、「低温食品事業」、「加工食品事業」及び「冷蔵事業」の6つの報告セグメントとしております。

「水産食品事業」は、水産食品の加工・販売を行っております。「海外即席麺事業」は、海外において即席麺類の製造・販売を行っております。「国内即席麺事業」は、国内において即席麺類の製造・販売を行っております。「低温食品事業」は、冷凍食品、チルド食品類の製造・販売を行っております。「加工食品事業」は、即席麺類、冷凍食品、チルド食品類以外の加工食品の製造・販売を行っております。「冷蔵事業」は、冷蔵倉庫による保管・凍結を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客に 対する売上高	25,415	35,950	76,097	48,784	14,787	9,879	210,915	20,365	231,281	43	231,324
セグメント 利益	546	5,855	9,013	3,393	495	506	19,811	1,270	21,081	△521	20,559

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。

2 売上高の調整額43百万円は、報告セグメントと財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額△521百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△552百万円、棚卸資産の調整額17百万円及びその他の調整額13百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
水産食品事業	7,255	—
海外即席麺事業	35,534	—
国内即席麺事業	57,621	—
低温食品事業	31,210	—
加工食品事業	15,289	—
その他	15,726	—
合計	162,638	—

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
加工食品事業	69	—	36	—
その他	15,241	—	29	—
合計	15,311	—	66	—

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 当社製品はすべて見込生産によって製造されており、受注生産は行っておりません。
 3 外注先からの発注により受注生産を行っている会社は、フクシマフーズ(株)、(株)フレッシュダイナー、石狩東洋(株)及びミツワデリー(株)であります。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
水産食品事業	25,415	—
海外即席麺事業	35,950	—
国内即席麺事業	76,097	—
低温食品事業	48,784	—
加工食品事業	14,787	—
冷蔵事業	9,879	—
その他	20,365	—
計	231,281	—
その他の調整額	43	—
合計	231,324	—

- (注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
三井物産(株)	67,869	28.0	65,360	28.3

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。